



平成29年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成29年2月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 三光マーケティングフーズ
コード番号 2762 URL <http://www.sankofoods.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平林 隆広
問合せ先責任者 (役職名) 情報開示担当執行役員 (氏名) 富川 健太郎

TEL 03-3537-9711

四半期報告書提出予定日 平成29年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年6月期第2四半期の業績(平成28年7月1日～平成28年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年6月期第2四半期	6,730	△1.9	△80	—	△62	—	△107	—
28年6月期第2四半期	6,860	△6.3	127	—	170	712.2	149	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年6月期第2四半期	△7.46	—
28年6月期第2四半期	10.41	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年6月期第2四半期	11,261	8,066	71.6
28年6月期	11,328	8,286	73.1

(参考)自己資本 29年6月期第2四半期 8,066百万円 28年6月期 8,286百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年6月期	—	8.00	—	8.00	16.00
29年6月期	—	8.00	—	—	—
29年6月期(予想)	—	—	—	8.00	16.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年6月期の業績予想(平成28年7月1日～平成29年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,500	△1.8	△150	—	△110	—	△230	—	△15.98

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年6月期2Q	14,387,000 株	28年6月期	14,387,000 株
29年6月期2Q	— 株	28年6月期	— 株
29年6月期2Q	14,387,000 株	28年6月期2Q	14,387,000 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点(平成29年2月10日付)において、金融商品取引法に基づくレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(3) 追加情報	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

第2四半期累計期間(平成28年7月1日～平成28年12月31日)における我が国経済は、雇用・所得環境の改善が続くなか、各種の政策の効果もあって、景気は一部に改善の遅れがみられるものの、緩やかな回復基調が続いております。一方、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響への懸念もあり、不安定な状況が続いております。

外食業界におきましては、原材料の高騰に加え、労働力人口減少と景気回復に伴う雇用の改善により、人材の確保が厳しくなっており、人件費も増大しております。また、食の多様化に伴う業種・業態の垣根を越えた競争も激化しており、引き続き厳しい状況にありました。

このような状況の中、「各種施策や業態変更による既存店の安定的な利益の確保」、「アカマル屋の新規出店と早期安定化」「新業態開発による新たなニーズの掘り起し」「次世代の人材育成」を掲げ、市場環境の変化に対応したそれぞれの施策を進めてまいりました。

具体的には、主力ブランド「金の蔵」につきましては、売上向上を図るべく、名物メニューを加えたグランドメニューの変更を行ったほか、ご来店されたお客様の楽しさ、わくわく感の生まれる各種キャンペーンを継続的に実施するなど、来店動機となる機会を創出し、来店を促しました。

また、3店舗の業態変更を行い、お客様のニーズに適合するよう対応いたしました。

店舗展開については、食事性の高い業態として、蕎麦酒場「ゑびや」を開発し、新たな利用動機の掘り起こしを行ったほか、「アカマル屋」の更なる市場拡大に向けて2店舗、新たな市場適合性の検証のために「ゑびや」及び「バリバリ鶏」各1店舗を新規出店いたしました。一方、不採算店舗1店舗の退店をいたしました。

以上の取り組みにより売上高は、67億30百万円(前年同期比1.9%減)となりました。営業利益につきましては、食材調達価格の高騰や人件費の上昇もあり、80百万円の損失(前年同期は営業利益1億27百万円)となりました。経常利益は62百万円の損失(前年同期は経常利益1億70百万円)、当四半期純利益は、1億7百万円の損失(前年同期は四半期純利益1億49百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債および純資産の状況

当第2四半期会計期間末における流動資産は、43億4百万円となり、前事業年度末に比べ、3億円減少いたしました。これは主に、現金及び預金が減少したことによるものであります。固定資産は69億56百万円となり、前事業年度末に比べ、2億33百万円増加いたしました。これは主に、新規出店にかかる建物の増加によるものであります。この結果、総資産は112億61百万円となり、前事業年度末に比べ、67百万円減少いたしました。

当第2四半期会計期間末における流動負債は、17億91百万円となり、前事業年度末に比べ、53百万円増加いたしました。これは主に、買掛金の増加によるものであります。固定負債は、14億2百万円となり、前事業年度末に比べ、98百万円増加いたしました。これは主に、資産除去債務の増加によるものであります。この結果、負債の部は、31億94百万円となり、前事業年度末に比べ、1億52百万円増加いたしました。

当第2四半期会計期間末における純資産の部は、80億66百万円となり、前事業年度末に比べ2億19百万円減少いたしました。これは主に、四半期純損失の計上及び配当金の支払によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」)の残高は、前事業年度末に比べ3億24百万円減少し、37億60百万円となりました。なお、当第2四半期累計期間における各キャッシュフローは次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、2億11百万円（前年同期比1.7%増）となりました。これは主に、税引前四半期純損失を89百万円計上したものの、その他流動負債の増加額が81百万円、非現金支出項目である減価償却費を2億24百万円計上したことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の使用した資金は、4億20百万円（前年同期は1億89百万円の獲得）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出3億75百万円、差入保証金の差入による支出56百万円があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、1億15百万円（前年同期比0.3%増）となりました。これは、配当金の支払額1億15百万円があったことによるものであります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期累計期間の業績を踏まえ、業績予想の修正を行った結果、平成28年8月12日に公表いたしました業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日（平成29年2月10日）公表の「第2四半期業績予想との差異および通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(3) 追加情報

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期会計期間から適用しております。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成28年6月30日)	当第2四半期会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,085	3,760
売掛金	144	181
原材料	33	39
前払費用	295	287
その他	46	35
流動資産合計	4,605	4,304
固定資産		
有形固定資産		
建物	4,429	4,757
減価償却累計額	△2,640	△2,752
建物(純額)	1,788	2,004
工具、器具及び備品	994	1,053
減価償却累計額	△850	△864
工具、器具及び備品(純額)	144	189
土地	942	942
建設仮勘定	45	-
有形固定資産合計	2,920	3,136
無形固定資産	18	40
投資その他の資産		
関係会社株式	33	33
差入保証金	3,421	3,420
その他	337	332
貸倒引当金	△7	△7
投資その他の資産合計	3,784	3,778
固定資産合計	6,723	6,956
資産合計	11,328	11,261

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成28年6月30日)	当第2四半期会計期間 (平成28年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	528	594
未払金	186	180
未払費用	506	533
未払法人税等	91	72
未払消費税等	55	34
前受収益	204	250
役員賞与引当金	20	-
設備関係未払金	62	47
資産除去債務	44	32
その他	36	45
流動負債合計	1,737	1,791
固定負債		
繰延税金負債	140	140
退職給付引当金	117	127
資産除去債務	734	827
その他	311	307
固定負債合計	1,304	1,402
負債合計	3,042	3,194
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,390	2,390
資本剰余金	2,438	2,438
利益剰余金	3,459	3,237
株主資本合計	8,289	8,066
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△2	-
評価・換算差額等合計	△2	-
純資産合計	8,286	8,066
負債純資産合計	11,328	11,261

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成27年7月1日 至平成27年12月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成28年7月1日 至平成28年12月31日)
売上高	6,860	6,730
売上原価	1,756	1,757
売上総利益	5,104	4,973
販売費及び一般管理費	4,976	5,053
営業利益又は営業損失(△)	127	△80
営業外収益		
受取利息	0	0
受取賃貸料	11	11
受取配当金	0	0
貸倒引当金戻入額	0	—
保険解約返戻金	27	—
その他	9	9
営業外収益合計	48	21
営業外費用		
賃貸費用	3	3
貸倒引当金繰入額	—	0
その他	1	0
営業外費用合計	5	3
経常利益又は経常損失(△)	170	△62
特別利益		
固定資産売却益	0	0
抱合せ株式消滅差益	25	—
特別利益合計	25	0
特別損失		
店舗閉鎖損失	14	—
減損損失	1	27
その他	0	—
特別損失合計	17	27
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	178	△89
法人税等	29	18
四半期純利益又は四半期純損失(△)	149	△107

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成27年7月1日 至平成27年12月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成28年7月1日 至平成28年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	178	△89
減価償却費	222	224
退職給付引当金の増減額(△は減少)	5	10
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	0
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	10	△20
受取利息及び受取配当金	△0	△0
保険解約返戻金	△27	-
有形固定資産売却損益(△は益)	△0	△0
抱合せ株式消滅差損益(△は益)	△25	-
減損損失	1	27
店舗閉鎖損失	14	-
売上債権の増減額(△は増加)	△26	△37
たな卸資産の増減額(△は増加)	△3	△6
仕入債務の増減額(△は減少)	61	65
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△65	19
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△49	81
その他の固定負債の増減額(△は減少)	△68	△4
その他	5	△7
小計	233	264
利息及び配当金の受取額	0	0
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△25	△53
営業活動によるキャッシュ・フロー	207	211
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△259	△375
有形固定資産の売却による収入	0	0
差入保証金の差入による支出	△118	△56
差入保証金の回収による収入	611	5
その他	△43	5
投資活動によるキャッシュ・フロー	189	△420
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△114	△115
財務活動によるキャッシュ・フロー	△114	△115
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	-
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	282	△324
現金及び現金同等物の期首残高	3,487	4,085
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	237	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,008	3,760

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。